



## 2020年8月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年10月14日

上場会社名 株式会社農業総合研究所 上場取引所 東  
 コード番号 3541 URL <https://www.nousouken.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀内 寛  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 坂本 大輔 TEL 03-6417-1047  
 定時株主総会開催予定日 2020年11月27日 配当支払開始予定日 ー  
 有価証券報告書提出予定日 2020年11月30日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年8月期の業績（2019年9月1日～2020年8月31日）

#### (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期	3,473	21.8	36	△17.3	46	0.9	31	41.0
2019年8月期	2,852	32.8	44	—	46	—	22	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年8月期	1.49	—	5.0	2.8	1.1
2019年8月期	1.06	—	—	—	—

(参考) 持分法投資損益 2020年8月期 △1百万円 2019年8月期 △11百万円

- (注) 1. 2019年8月期は連結財務諸表を作成していたため、2019年8月期自己資本当期純利益率、総資産経常利益率及び売上高営業利益率については記載しておりません。  
 2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。  
 3. 2019年3月1日付で普通株式1株につき普通株式5株の割合で株式分割を行っております。1株当たり当期純利益については、2019年8月期の期初に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年8月期	1,751	644	36.8	30.68
2019年8月期	1,543	609	39.5	29.00

(参考) 自己資本 2020年8月期 644百万円 2019年8月期 609百万円

- (注) 1. 2019年3月1日付で普通株式1株につき普通株式5株の割合で株式分割を行っております。1株当たり純資産については、2019年8月期の期初に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年8月期	233	△145	9	614
2019年8月期	—	—	—	—

- (注) 当社は、2019年8月期において連結キャッシュ・フロー計算書を作成していたため、2019年8月期の数値は記載しておりません。

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2020年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2021年8月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 当社は、株主への利益還元を経営の重要課題と認識しておりますが、配当政策については企業体質の強化と将来の事業展開のための内部留保を図るとともに、業績に応じた配当を継続的に行うことを基本方針としております。2020年8月期の期末配当金につきましては、当期純利益を計上したものの、内部留保充当が必要であるものと判断し、無配とさせていただきます。また、2021年8月期の配当につきましても、現時点において未定であります。

## 3. 2021年8月期の業績予想(2020年9月1日～2021年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	
	百万円	%
通期	4,000	15.2
	～ 4,400	～ 26.7

(注) 2021年8月期の業績予想については、新型コロナウイルス感染拡大による事業環境の変化による影響を鑑み、レンジ形式により開示しております。売上高以外の業績予想については、合理的に予測可能となった時点で公表させていただきます。詳細は、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

### ※ 注記事項

#### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

#### (2) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年8月期	21,014,500株	2019年8月期	21,005,000株
② 期末自己株式数	2020年8月期	270株	2019年8月期	270株
③ 期中平均株式数	2020年8月期	21,007,118株	2019年8月期	21,004,802株

(注) 1. 2019年3月1日付で普通株式1株につき普通株式5株の割合で株式分割を行っております。期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数については、2019年8月期の期初に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

2. 2020年6月1日付で譲渡制限付株式報酬として新株式9,500株を発行しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 貸借対照表 .....	5
(2) 損益計算書 .....	7
(3) 株主資本等変動計算書 .....	8
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(持分法損益等) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(1株当たり情報) .....	11
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

全国の農業総産出額は、農家の高齢化等による作付面積の減少等に伴い長期的に減少していましたが、コメ、野菜等の需要に応じた生産の進展等から2015年以降は3年連続で増加し、2018年は前年に比べ2,184億円減少したものの、9兆558億円と引き続き高い水準を維持しております(出典:農林水産省「生産農業所得統計」)。他方、当事業年度における当社事業環境は、令和元年台風15号、令和元年台風19号など相次ぐ自然災害に加え、全国的な暖冬や東日本日本海側の記録的な少雪、さらには新型コロナウイルス感染症拡大により、景気の先行きへの不透明感が増しているなど、農産物流通への影響に留意が必要な状況が続いております。

このような環境のもと、当社の主力事業である「農家の直売所」事業の継続的な成長を図るため、生産者の出荷拡大に向けた摂津センターの拡張やバラ出荷方式の導入準備などを着実に実行し、流通総額の拡大と利益率の改善に向けて取組んでまいりました。また、コメ卸最大手の株式会社神明との業務提携契約や、レシピ動画サービスを展開するdely株式会社との業務提携契約を締結するなど、他社とのアライアンスも積極的に展開いたしました。さらに、経営基盤の拡大強化及び流通総額のさらなる拡大に備え、システム拡張と優秀な人材確保については追加投資が必要と判断し、計画を上回る追加投資や既存の職場環境改善を実施いたしました。加えて、この度の新型コロナウイルス感染症拡大により、取引先の休業などによって販売額減少などの被害を受けた生産者を対象に、全国から幅広く農産物を買取りする緊急買取支援を実施いたしました。2020年4月以降、全国的な緊急事態宣言に伴う外出自粛による導入店舗の青果需要の突発的な増加に対しては、全国の産地に構築した供給体制の活用や緊急買取支援を実施することで、柔軟に対応してまいりました。また、6月には、増加する農産物の出荷量や加工業務への対応、利便性の向上などを目的に、東京加工センターを移転いたしました。新センターは、加工能力がこれまでの2倍となることに加え、共同仕入れによる物流の効率化やコスト削減を実現するなど、今後さらに高まる農産物需要と流通総額の拡大に対応してまいります。

このような取組みの結果及び新型コロナウイルスの感染が拡大する中、5月、7月、8月は単月の流通総額が10億円超を記録するなど、当社の重要な経営指標である「農家の直売所」事業による流通総額は10,862,643千円、2020年8月末日時点でスーパーマーケット等の国内小売店への導入店舗数は1,619店舗(前事業年度末より203店舗増)、農産物の集荷拠点である集荷場は92拠点(前事業年度末と同数)、登録生産者9,273名(前事業年度末より668名増)まで拡大いたしました。

以上の結果、当事業年度における売上高は3,473,364千円(前事業年度比21.8%増)、営業利益は36,872千円(前事業年度比17.3%減)、経常利益は46,491千円(前事業年度比0.9%増)、当期純利益は31,289千円(前事業年度比41.0%増)となりました。

当社の事業は、単一のセグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当事業年度末における流動資産は、前事業年度末に比べ47,246千円増加し、1,410,581千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加97,675千円、売掛金の減少55,249千円等によるものであります。

当事業年度末における固定資産は、前事業年度末に比べ160,679千円増加し、340,680千円となりました。これは主に、無形固定資産の増加74,013千円、投資その他の資産の増加73,589千円等によるものであります。

#### (負債)

当事業年度末における流動負債は、前事業年度末に比べ215,849千円増加し、1,010,182千円となりました。これは主に、買掛金の増加131,457千円、未払金の増加17,421千円、短期借入金の増加54,800千円、賞与引当金の増加17,042千円等によるものであります。

当事業年度末における固定負債は、前事業年度末に比べ43,515千円減少し、96,284千円となりました。これは主に、長期借入金の減少41,384千円等によるものであります。

#### (純資産)

当事業年度末における純資産は、前事業年度末に比べ35,592千円増加し、644,795千円となりました。これは主に、当期純利益計上により利益剰余金が31,289千円増加したことによるものであります。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、614,501千円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は233,308千円となりました。これは主に、税引前当期純利益46,491千円、減価償却費32,338千円、売上債権の減少55,249千円、仕入債務の増加131,457千円及び未払金の減少10,904千円及び法人税等の支払額34,042千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は145,263千円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出12,837千円、無形固定資産の取得による支出78,266千円、関係会社株式の取得による支出50,004千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は9,630千円となりました。これは主に、短期借入れによる収入54,800千円、長期借入金の返済による支出44,534千円によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年8月期
自己資本比率 (%)	36.8
時価ベースの自己資本比率 (%)	621.6
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	0.8
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	188.2

(注) 1. 各指標はいずれも財務数値を用いて、以下の計算式より算出しております。

自己資本比率：自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー/利払い

2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数により算出しております。
3. 有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。
4. キャッシュ・フロー及び利払いは、キャッシュ・フロー計算書に計上されている営業活動によるキャッシュ・フロー、支払利息を使用しております。
5. 2019年8月期以前は、連結キャッシュ・フロー計算書を作成しており、キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。そのため、2019年8月期以前の関連指標は記載しておりません。

(4) 今後の見通し

当社の主たる事業である農家の直売所事業は、食の安心・安全への生活者の意識の高まりもあり、次期も引き続き高い成長が続くと見込んでおります。今期に増加した導入店舗や登録生産者が通年で寄与することに加え、当社が構築したスーパー等との物流網を活用した販売形態を更に強化し、流通総額の拡大を図ってまいります。

一方で、次期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の収束の目途が立たない中、Go To トラベルキャンペーンをはじめ、徐々に経済活動が再開され始めておりますが、今後の広がり方や収束時期等を予測することが困難な状況にあることから、消費者動向も不透明な状況にあります。

以上により、2021年8月期の業績見通しにつきましては、売上高4,000,000千円～4,400,000千円（前年同期比15.2%～26.7%増）を見込んでおります。売上高以外の業績予想については、今後開示が可能となった段階で速やかに開示いたします。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内の企業間の比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年8月31日)	当事業年度 (2020年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	516,826	614,501
売掛金	828,070	772,820
商品	4,801	11,728
貯蔵品	58	81
前払費用	17,213	15,689
その他	227	396
貸倒引当金	△3,863	△4,636
流動資産合計	1,363,335	1,410,581
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	22,336	27,785
減価償却累計額	△4,066	△5,670
建物附属設備(純額)	18,269	22,114
構築物	10,950	22,535
減価償却累計額	△2,735	△4,361
構築物(純額)	8,214	18,174
車両運搬具	5,587	3,605
減価償却累計額	△5,587	△3,605
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品	3,173	4,422
減価償却累計額	△1,487	△2,828
工具、器具及び備品(純額)	1,686	1,593
その他	3,169	3,169
減価償却累計額	△739	△1,373
その他(純額)	2,429	1,796
有形固定資産合計	30,600	43,677
無形固定資産		
ソフトウェア	69,838	143,852
無形固定資産合計	69,838	143,852
投資その他の資産		
関係会社株式	35,000	85,004
投資有価証券	6,820	6,820
繰延税金資産	18,615	38,076
その他	19,126	23,250
投資その他の資産合計	79,561	153,150
固定資産合計	180,000	340,680
資産合計	1,543,335	1,751,262

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年8月31日)	当事業年度 (2020年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	521,076	652,534
短期借入金	-	54,800
1年内返済予定の長期借入金	44,534	41,384
未払金	144,311	161,732
未払費用	3,465	6,517
未払法人税等	24,305	28,608
前受金	2,133	1,627
預り金	12,392	10,787
賞与引当金	20,720	37,763
その他	21,392	14,427
流動負債合計	794,332	1,010,182
固定負債		
長期借入金	128,096	86,712
資産除去債務	8,167	8,193
その他	3,536	1,379
固定負債合計	139,800	96,284
負債合計	934,133	1,106,467
純資産の部		
株主資本		
資本金	212,296	214,448
資本剰余金		
資本準備金	197,296	199,448
資本剰余金合計	197,296	199,448
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	199,852	231,141
利益剰余金合計	199,852	231,141
自己株式	△242	△242
株主資本合計	609,202	644,795
純資産合計	609,202	644,795
負債純資産合計	1,543,335	1,751,262



(2) 損益計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)	当事業年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
売上高	2,852,039	3,473,364
売上原価		
商品期首たな卸高	1,527	4,801
当期商品仕入高	957,442	1,350,683
合計	958,969	1,355,485
商品期末たな卸高	4,801	11,728
売上原価	954,167	1,343,757
売上総利益	1,897,872	2,129,606
販売費及び一般管理費	1,853,290	2,092,734
営業利益	44,581	36,872
営業外収益		
受取利息	7	23
受取賃貸料	2,733	2,757
助成金収入	400	7,538
その他	915	2,019
営業外収益合計	4,056	12,338
営業外費用		
支払利息	1,037	1,239
賃貸費用	1,505	1,480
営業外費用合計	2,543	2,720
経常利益	46,094	46,491
特別損失		
災害による損失	2,244	—
特別損失合計	2,244	—
税引前当期純利益	43,850	46,491
法人税、住民税及び事業税	22,534	34,663
法人税等調整額	△875	△19,461
法人税等合計	21,659	15,202
当期純利益	22,190	31,289

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本							純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金 繰越利益剰 余金	利益剰余金 合計			
当期首残高	212,296	197,296	197,296	177,661	177,661	—	587,254	587,254
当期変動額								
新株の発行							—	—
当期純利益				22,190	22,190		22,190	22,190
自己株式の取得						△242	△242	△242
当期変動額合計	—	—	—	22,190	22,190	△242	21,947	21,947
当期末残高	212,296	197,296	197,296	199,852	199,852	△242	609,202	609,202

当事業年度(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本							純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金 繰越利益剰 余金	利益剰余金 合計			
当期首残高	212,296	197,296	197,296	199,852	199,852	△242	609,202	609,202
当期変動額								
新株の発行	2,151	2,151	2,151				4,303	4,303
当期純利益				31,289	31,289		31,289	31,289
自己株式の取得							—	—
当期変動額合計	2,151	2,151	2,151	31,289	31,289	—	35,592	35,592
当期末残高	214,448	199,448	199,448	231,141	231,141	△242	644,795	644,795

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当事業年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前当期純利益	46,491
減価償却費	32,338
株式報酬費用	9,078
貸倒引当金の増減額(△は減少)	772
賞与引当金の増減額(△は減少)	17,042
受取利息	△23
支払利息	1,239
たな卸資産の増減額(△は増加)	△6,949
売上債権の増減額(△は増加)	55,249
仕入債務の増減額(△は減少)	131,457
未払金の増減額(△は減少)	△10,904
その他	△7,205
小計	268,588
利息及び配当金の受取額	18
利息の支払額	△1,255
法人税等の支払額	△34,042
営業活動によるキャッシュ・フロー	233,308
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△12,837
無形固定資産の取得による支出	△78,266
貸付けによる支出	△3,000
貸付金の回収による収入	50
敷金及び保証金の差入による支出	△1,862
敷金及び保証金の回収による収入	240
関係会社株式の取得による支出	△50,004
その他	416
投資活動によるキャッシュ・フロー	△145,263
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額	54,800
長期借入金の返済による支出	△44,534
その他	△635
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,630
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	97,675
現金及び現金同等物の期首残高	516,826
現金及び現金同等物の期末残高	614,501

- (5) 財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前提に関する注記)  
該当事項はありません。

(持分法損益等)

	当事業年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
関連会社に対する投資の金額	85,004千円
持分法を適用した場合の投資の金額	70,599
持分法を適用した場合の投資利益の金額	△1,580

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、農家の直売所事業への単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前事業年度(自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の氏名又は名称	売上高	関連するセグメント名
イオンリテール株式会社	396,932	農家の直売所事業

当事業年度(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の氏名又は名称	売上高	関連するセグメント名
イオンリテール株式会社	430,169	農家の直売所事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

当社は、農家の直売所事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	当事業年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
1株当たり純資産額	30.68円
1株当たり当期純利益	1.49円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	-

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当事業年度 (2020年8月31日)
純資産の部の合計額(千円)	644,795
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	-
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	644,795
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	21,014,230

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当事業年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
1株当たり当期純利益	
当期純利益(千円)	31,289
普通株主に帰属しない金額(千円)	-
普通株式に係る当期純利益(千円)	31,289
普通株式の期中平均株式数(株)	21,007,118

(重要な後発事象)

第三者割当による新株式の発行及び資本業務提携契約の締結

当社は、2020年10月14日開催の取締役会において、東日本旅客鉄道株式会社（以下「JR東日本」といいます。）、株式会社福岡ソノリク（以下「福岡ソノリク」といいます。）及び株式会社農林漁業成長産業化支援機構を割当予定先とする第三者割当による新株式の発行（以下「本第三者割当」といいます。）について決議いたしました。また、本第三者割当増資に伴い、当社の主要株主の異動が見込まれます。

さらに、JR東日本と福岡ソノリクとの間で、それぞれ資本業務提携を行うことを決議し、同日付で両社と資本業務提携契約を締結いたしました。詳細につきましては、本日（2020年10月14日）公表いたしました「第三者割当による新株式の発行及び主要株主の異動に関するお知らせ」、「東日本旅客鉄道株式会社との資本業務提携契約締結に関するお知らせ」及び「株式会社福岡ソノリクとの資本業務提携契約締結に関するお知らせ」をご参照ください。